

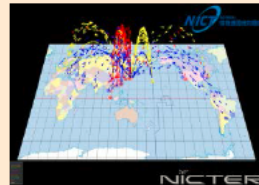
- 国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT) はICT分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関
- 役職員数：理事長 坂内正夫 (前国立情報学研究所所長)、理事5名、監事2名、常勤職員404名
- 平成27年度予算：274億円 所在地：小金井市 (本部)、横須賀市、神戸市、京都府精華町 (けいはんな) 等

I. ネットワーク基盤技術

情報量の増大、消費電力の低減等の要請に応える
安心・安全なネットワークを実現する



オール光
ネットワーク



サイバー攻撃
の解析

光通信、ワイヤレス通信、ネットワークセキュリティなどの技術の研究開発を進めることにより、環境負荷を低減し、大容量で高度な信頼性・安全性を備えた新世代ネットワークの実現を目指す。

II. ユニバーサルコミュニケーション基盤技術

様々な壁を超えて人に優しい
コミュニケーションを実現する



超臨場感
通信

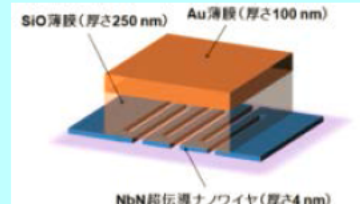
多言語翻訳、超臨場感通信などの技術の研究開発を進めることにより、言葉の壁を越えたコミュニケーションや高度な臨場感を伴う遠隔医療など、人と社会にやさしいシステムの実現を目指す。

III. 未来ICT基盤技術

未来の情報通信にパラダイムシフトをもたらす



脳情報
通信



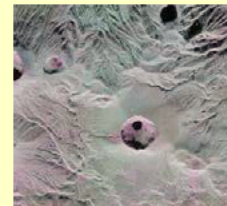
量子通信
のための
光子検出器

脳・バイオICT、ナノICT、量子ICT、超高周波ICTなどの技術の研究開発を進めることにより、未来の情報通信にパラダイムシフトをもたらす新たな情報通信概念と技術の創出を目指す。



IV. 電磁波センシング基盤技術

高精度な環境情報や時刻情報を
容易に安全に利用できるようにする



航空機搭載
合成開口
レーダーに
よる火口の
観測



フェーズドアレイ
気象レーダーに
よるゲリラ豪雨の
観測

時空標準、電磁環境、電磁波センシングなどの技術の研究開発を進めることにより、災害や気候変動要因等を高精度にセンシングする技術、電磁波を安全に利用するための計測技術等の利用促進を目指す。